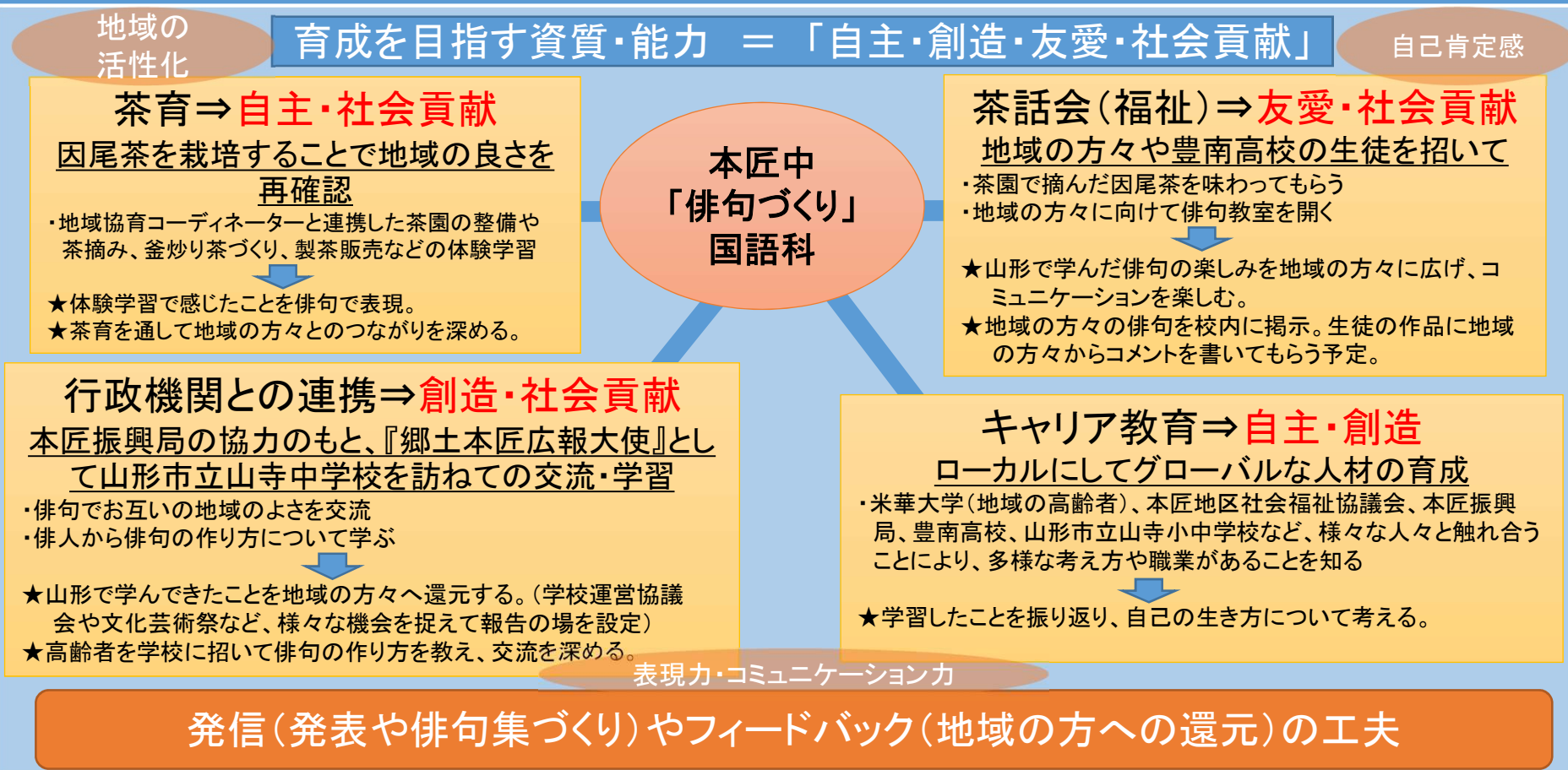


佐伯教育事務所 令和6年度第1回学校訪問における「学校マネジメント」に係る取組事例③  
 【観点Ⅳ】「学校・家庭・地域による目標の共有・協働」

取組実践校:佐伯市立本匠中学校(生徒数 10名 4学級)

「『俳句』を通じた体験・交流活動を『目指す資質・能力の育成』につなげるための工夫」

- ①「俳句」を中心とした体験・交流活動のカリキュラムマネジメント
- ②体験・交流活動による学びを生徒に自覚させ、目指す資質・能力の育成につなげる工夫



ポイント①体験活動を様々な教科と関連させながらカリキュラムに位置付けている  
 ②学んだことを発信し、的確な振り返りを行うことで自己の成長をメタ認知させている



学校だより 本匠中の素晴らしい10人の生徒

# 「本匠の”宝”」

【ローカルにしてグローバルな人材の育成】  
 「郷土・少人数」の良さを最大限に生かしながら、  
 当事者意識の高揚とウェルビーイングの向上を図る。

特別号（山形訪問記念2）  
 令和6年7月29日（月）  
 佐伯市立本匠中学校  
 校長 高野 徹

## 今年もお世話になります。生徒6名が訪問します。

【郷土本匠広報大使】として、今年も6名が山形を訪問します。  
 昨年も大変にお世話になりました。昨年に続き今年も、7月29日（月）～31日（水）の3日間、3年生4名、2年生1名、1年生1名の計6名が全校生徒を代表として、「本匠版『百人一首』」が縁で交流の始まった「山形市立山寺中学校」（松尾芭蕉が有名な句を詠んだ地域にある学校）を訪問させていただきます。  
 夏季休業中にもかかわらず、快く受け入れをお許しいただきました。高橋校長先生、木村教頭先生をはじめ、山寺中の教職員の皆様、生徒の皆様、そして、地域の皆様に、心よりお礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。  
 訪問生徒には、是非とも、「郷土本匠広報大使」として本匠地域の魅力を発信するとともに、「俳句の作り方」を学んでほしいと願っています。そして、訪問後は、本匠地域でも、90年前に盛んに行われていた「俳句づくり」を通じて、中学生が地域活性化の一環を担っていきます。（地域の皆様と「本匠版『オリジナル俳句集（本匠）』」の作成などを行います）  
 訪問する生徒には、山形で積極的に交流・学習・体験・見学し、有意義で実り多い訪問にするとともに、帰校後は現地で得たことを、全校生徒や保護者、地域の皆様に大いに還元してほしいと願っています。

昨年の訪問後も、大変お世話になっています。ありがとうございます。  
 訪問後、高木前校長先生から「サクランボ」「ラ・フランス」「りんご」といった山形を代表する果物をおくっていただきました。給食時に、全校生徒でおいしくいただきました。  
 高橋校長先生からは、電話等でご連絡をいただきました。木村教頭先生からは、「山寺の絵葉書（年始の葉書）」をいただくとともに、「銀化」両人の武田菜美先生からは、山形訪問の様子や本校の教育活動を紹介していただいた俳句文芸誌「楠子」をおくっていただきました。全校生徒や教職員、保護者等に紹介し、廊下にも掲示をしています。

## 本匠中学校の”旬な情報”をご紹介します。

**第41回全国児童生徒俳句大会において見事に入賞・入選し表彰**  
 5月4日（土）、全国児童生徒俳句大会の表彰式が行われました。全国・海外から9,168の応募の句から、本校の生徒2名の句が見事、入賞（26句）入選（296句）に選ばれ、表彰を受けました。2人の句とも、本匠の豊かな情景を詠んだ句となっています。  
 入賞した句（1年生の句）「暗闇のホテルで光る大水車」  
 入選した句（2年生の句）「夏の川透き通る水沈み橋」  
 卒業生3名が昨年の夏、山形市立山寺中学校を訪問して俳句の作り方を学びました。そこで学んだことを、下級生や小学生、地域の方に伝えてくれました。通常の国語科の学習にも、この「俳句づくり」を取り入れ、今回の、全国大会での入賞・入選につながりました。この「喜びの連絡」が契機となり、本匠地域で90年前に盛んに行われていた「俳句づくり」が、中学生から本匠地域の多くの皆様に更に広がってほしいと心から願っています。

＜「食育推進施策（食育白書）」に本校の茶摘みの写真が掲載されました＞  
 「食育推進施策」（食育白書）は食育基本法に基づき、食育の推進に関して講じた施策について、毎年、政府が国会に報告しているものです。令和5年度の「食育推進施策」が6月7日に発表され、ホームページに掲載されました。この中の157ページに「コラム『茶育』」についての取組の中で、本校の茶摘みの写真が掲載されました。

【本校の”茶育”の取組の様子を農林水産省のホームページで紹介されました。】  
 7月16日（火）、農林水産省の担当者から「貴校の”茶育”の取組を農林水産省のホームページに掲載しました」との連絡が入りました。全国の5つの取組事例が紹介されているうちの1つです。学校の茶園を活用し、地域の皆様のご協力のもと、本校生徒が行っているお茶に関する取組が紹介されています。

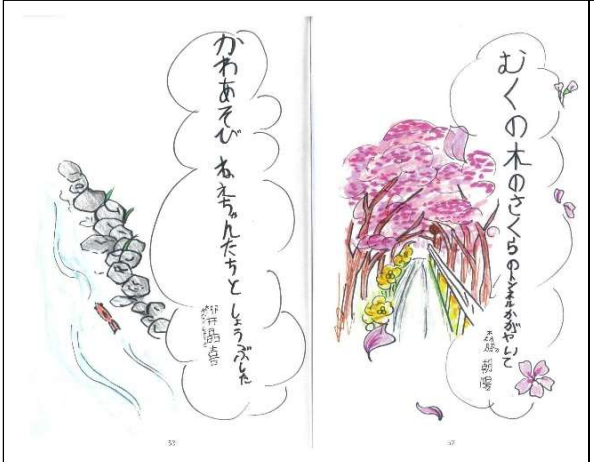
佐伯市社会教育振興大会（9/28日）で事例報告を行います。  
 9月28日（土）に開催される「第17回佐伯市社会教育振興大会」において、「地域と学校がつながるふるさと学習～本匠中学校『茶育』の取組～」と題して、事例報告を行います。地域協働コーディネーターさんと共に本校の生徒、教職員の代表が、これまで地域の皆様の協力を得ながら、学校の伝統行事として行われてきた「茶摘み」の活動をはじめ、お茶に関する取組について発表することになっています。



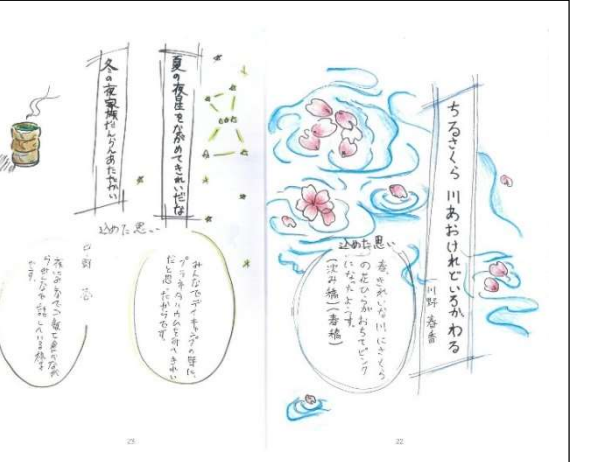
あどがき

私たちの俳句集「本匠」を手にとっていただきありがとうございます。  
 本匠中学生は、本匠を盛り上げるため日々活動しています。その一つがこの俳句集です。  
 本匠では、九十年程前、俳句が盛んに詠まれ俳句集もありました。私たちはそれを復活させたいと思いました。  
 私たちはそれを復活させたいと思い、卒業直前の一ヶ月で取り組み、児童、生徒、先生方、保護者、地域の方々、そして、田中利明佐伯市長を始め、佐伯市教育長、議員の皆様のご協力もあって完成させることができました。  
 なぜ、議員の方々の句があるのか。それは、二月八日に行われた未来議会に本匠中学生が参加させていただき、その際に俳句作りをお願いしたところ、快くOKをいただいたからです。  
 本匠に関すること、二〇二三年の想い出、二〇二四年の抱負など一人ひとりが思いを込めて詠んだ句を載せています。  
 この俳句集の表紙、一句毎の絵、すべて私たち三年生が思いを込めて描きました。句はもちろんのこと絵も楽しんでいただけただけで嬉しいです。

伊藤向日葵  
 柴田菜臣  
 高橋葉月



小学生の作品



中学生の作品